

名古屋大学 COI-NEXT
マイモビリティ共創拠点

みんなの
「行きたい」「会いたい」「参加したい」
をかなえる超移動社会



国立研究開発法人科学技術振興機構
共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）地域共創分野

ビジョン

みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」をかなえる超移動社会

本拠点では、マイカーを使わない人でも社会参加機会に公平にアクセスできる超移動社会の実現を目指しています。東海地方を含むわが国のほとんどの地域は、マイカー依存型の交通システムになっており、自動車の過度な利用による社会的コストが増加すると共に、マイカーを利用しない(運転できない、したくない)人々は日常的移動に困難を感じ、活動の機会が奪われています。このような地域において、マイカーを使わない人にも社会に公平なアクセスができ、移動のストレスが極めて小さくなる『みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」をかなえる超移動社会』を目指します。



ターゲット

マイカーを使わなくても
ストレスなく移動できる
地域モビリティの技術開発

未来を拓く地域モビリティシステム
を導入・持続できる
社会制度の構築

ウェルビーイングフルな
活動ができる
まちと社会の創出



ご挨拶

地域公共交通は衰退の一途をたどり、マイカーを使わない地域内の移動がますます困難になっています。本マイモビリティ共創拠点では、自動運転などの新しい技術とビジネスモデルチェンジによって、まったく新しい地域モビリティを開拓します。

プロジェクトリーダー（PL）
国立大学法人東海国立大学機構
名古屋大学 未来社会創造機構
モビリティ社会研究所
特任教授 **森川 高行**



マイモビリティ共創フィールド

東海地域を中心に、ビジョン実現のための共創フィールドを展開しています。これらプロジェクトを軸に、将来的には東海地域から全国へ発信・展開することを目指します。

岐阜県岐阜市 岐阜市遊覧都市再生プロジェクト

「遊覧都市」構想を自動運転バスにより再生し、都市全体の魅力を高める地域イノベーション

愛知県名古屋市・春日井市高蔵寺ニュータウン 名古屋東北回廊プロジェクト

名古屋駅と春日井市高蔵寺ニュータウンを結ぶ回廊地域における、自動運転やオンデマンド乗合交通、MaaSなどを組み合わせた地域イノベーション



愛知県名古屋市「南陽地区」 名古屋西南回廊プロジェクト

住民主導のモビリティサービス共創やまちなかのシェアサイクル、多様な商業施設クーポンを活用したデータ駆動型MaaSによる地域イノベーション

愛知県名古屋市「エキ・シロ地区」 歴史的商業地区再生プロジェクト

名古屋駅と名古屋城の間にある歴史的商業地区「エキ・シロ」における、移動の価値を高める技術を組み入れた自動運転などの先進モビリティの導入による地域イノベーション

鹿児島県「沖永良部島」 離島型地域共創拠点プロジェクト

人と人との距離が近く、多様な交流や学びが生まれるポテンシャルを有する離島において、モビリティを人と人、人と地域、人と学びをつなぐ社会基盤として再定義し、高校生の総合探究や地域との共創を通じて、新たな地域価値を創出する地域イノベーション



ビジョン実現のための研究開発

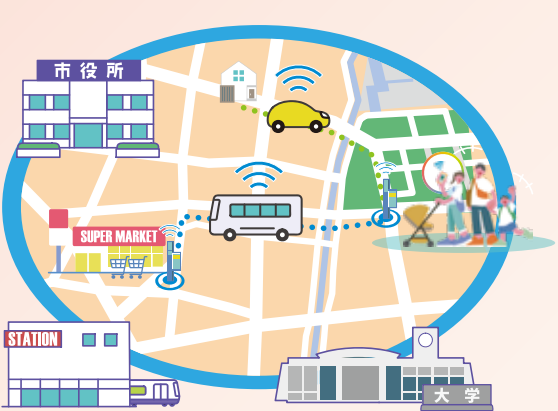
地域拠点ビジョンの実現にむけて、マイカーを使わなくてもストレスなく移動できる地域モビリティの技術開発、地域モビリティシステムを導入・持続可能とする社会制度の構築、およびウェルビーイングフルな活動ができるまちと社会の創出が必要です。
本拠点では、そのための研究開発に取り組んでいます。

地域みんなでつくるモビリティサービス

サービス共創による地域モビリティモデルの開発

産学官連携による実証実験を繰り返し、サービス共創を通じて持続可能な地域モビリティモデルの構築を目指します。

#価値共創 #オープンイノベーション #まちづくり



産学官の適切な役割分担によるサービス共創



春日井市高蔵寺ニュータウンの公共ライドシェアによる自動運転サービス



GIFU HEART BUS 新車両出発式

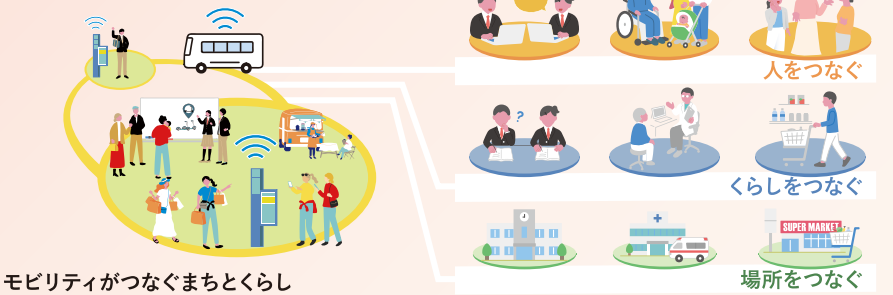
地域循環型モビリティ共創

社会変化に対応できるまちとくらしの探求

移動を「活動・交流・価値創出を支える基盤」として捉え、データに基づく分析と地域との共創を通じて、人と人、人と地域をつなぐ地域コミュニティの共創拠点となるモビリティハブを核に、持続可能で包摂的なまちとくらしの姿を描きます。

#モビリティハブ #地域共創 #HyperMobilityQuest #総合的な探究の時間

#まちづくり #都市構造



自動走行

自動走行地域モビリティシステムの開発

自宅近隣や最寄の駅・バス停までの近距離移動を支える自動走行モビリティの実現を目指します。

#個人向け自動走行モビリティ #三次交通サービス



個人向け自動走行モビリティ



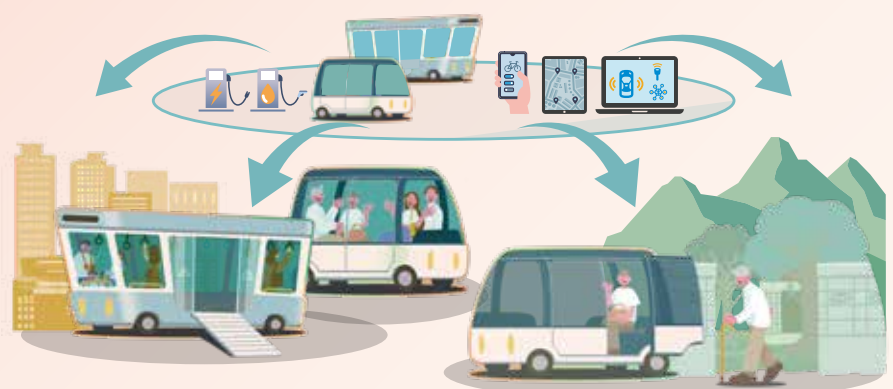
乗合型自動走行モビリティ

地域モビリティを持続可能に

地域モビリティシステムのアセットを共有する公共財プラットフォームの構築

持続可能な地域モビリティの構築を目指し、自動運転技術を活用したモビリティサービスの共同調達を実現する「スマートモビリティ公共財プラットフォーム」の構築を目指します。

#リアル財 #公共財 #協調領域 #概念実証



スマートモビリティ公共財プラットフォーム

移動をICT技術で楽しく

移動時間の価値を高める多感覚インフォテインメントシステムの開発

移動そのものの価値を高めるサイバー・フィジカル・ライフコンテンツと、それを伝えるプラットフォームインタフェースの構築を目指します。

#3D 地理情報
#サイバー・フィジカル
#マルチモーダル・インタフェース
#ライフコンテンツ
#AI 応答



多感覚インフォテインメントシステム

社会受容性

超移動社会がもたらす多面的価値の評価

モビリティの向上が人々の暮らしに与える多面的な影響を検証するとともに、把握・評価の手法を開発します。得られた知見をもとに他の研究開発課題を支援します。

#well-being 評価 #マイモビリティの評価

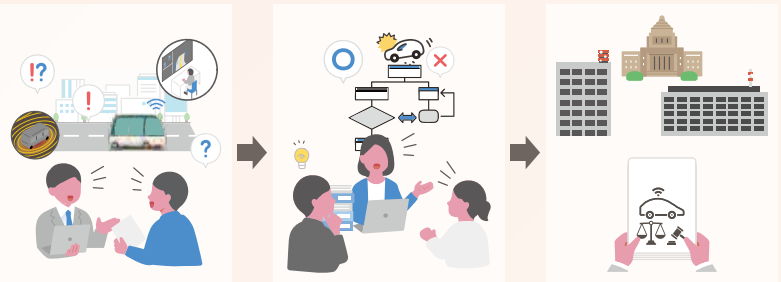


マイモビリティの評価

先進モビリティ等の実装に伴う法的課題の解明

法実務家が先進技術や交通政策といった他の研究開発課題と連携し、課題抽出や問題点分析を行い、今後必要となる法整備を具体的に提案していきます。

#法整備 #先進技術に関する法律問題

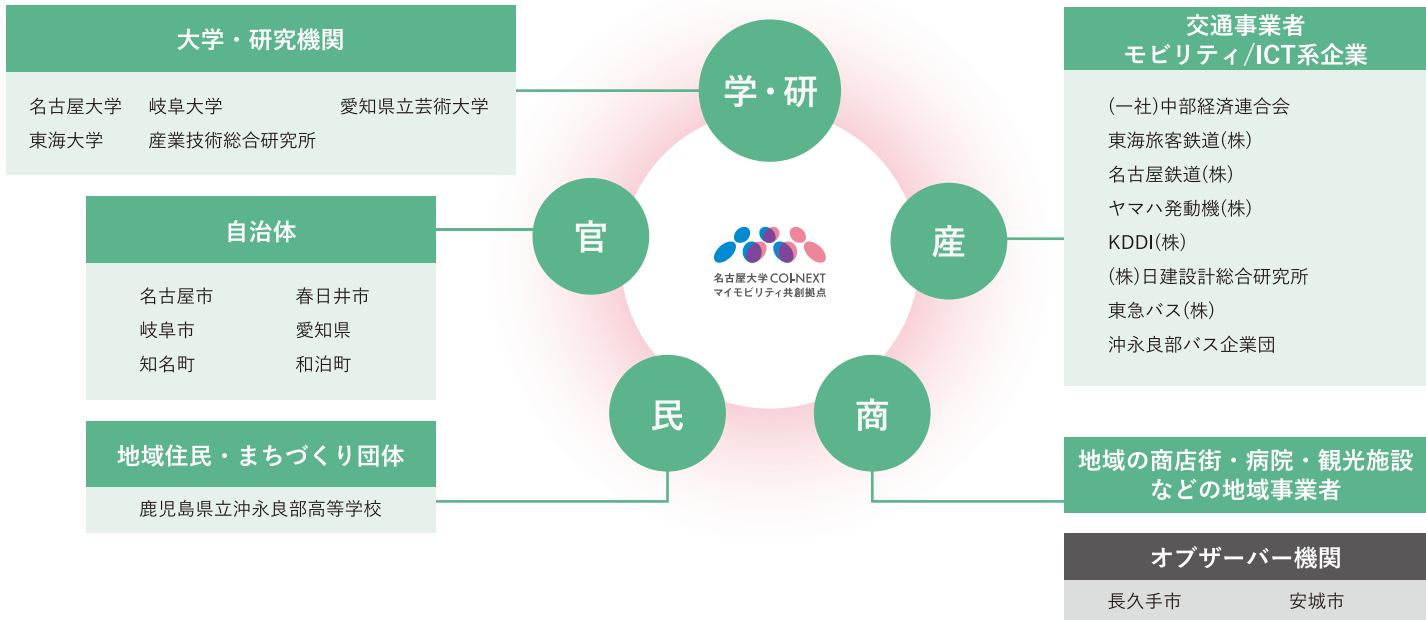


法制度整備

マイモビリティ共創プラットフォーム

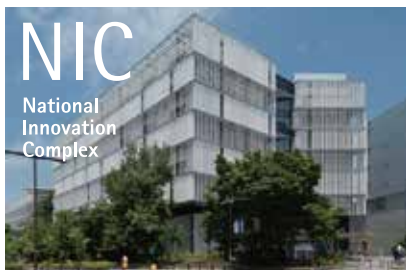
本拠点では、大学・研究機関や交通事業者、モビリティおよび ICT 系企業、自治体のほか、地域の商店街・病院・観光施設などの地域事業者、そして地域の住民といった多様なステークホルダーを巻き込んだ共創プラットフォームを構築しています。

本拠点は、名古屋大学 COI (2021年度終了) における経験を活かし、日本最大級の総合的モビリティ研究機関「モビリティ社会研究所」のメンバーを中核に、中部圏を世界有数の「次世代モビリティ産業地域」にすることを目指す中部経済連合会や中部地方の二大交通事業者、そして自治体と密に連携し、「地域モビリティイノベーション」創出に向けた拠点活動を推進しています。



活動拠点・研究基盤

名古屋大学東山キャンパスに立地するナショナル・イノベーション・コンプレックス (NIC) は、名古屋大学の強みであるモビリティに関する実験設備・機器を整備しており、イノベーション実現のための「場」を提供しています。



お問い合わせ

名古屋大学 未来社会創造機構 プロジェクト統括室
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
TEL : 052-747-6765
E-mail : info-mymobi@mirai.nagoya-u.ac.jp



名古屋大学 COI-NEXT
地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点
<https://mymobi.mirai.nagoya-u.ac.jp/>

プロジェクト参画機関募集中

名古屋大学COI-NEXT マイモビリティ共創拠点では
ビジョン実現をともに目指す仲間を募集しています！

対象者

- 地域のモビリティに課題を抱えている団体、自治体
- 拠点の活動に参加したい事業者、研究開発機関

Web サイトはこちら

